ERI名古屋 構造かわらばん

Vol.22　令和元年7月
日本ＥＲＩ 名古屋支店
☎ 052-589-8772
http://www.j-eri.co.jp

構造NEWS

今号と次号は、**確認申請書第六面**について紹介します。

■確認申請書の様式は、基準法施行規則の別記様式（第二号）に定められています。構造に特に関係が深い第六面は、H27年施行の改正基準法で、法20条第2項（エキスパンションジョイント等で構造上分離された建築物の構造計算）が整備された際に追加されました。

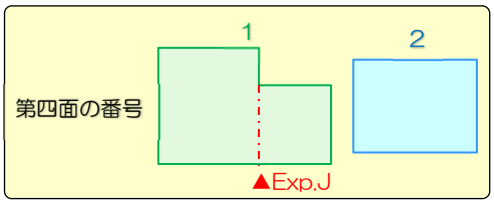
【1.番号】

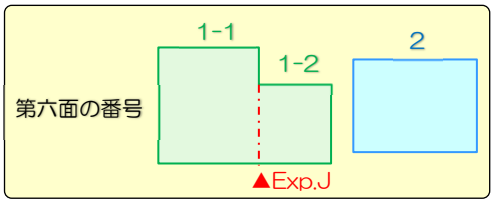
第四面は、申請建築物ごとに作成します。
第六面は、申請建築物の部分ごとに作成します。
第六面の番号は、第四面の番号に枝番を付けます。

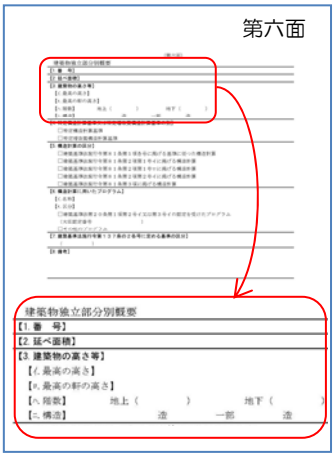
【2.延べ面積】、【3.建築物の高さ等】

申請建築物の部分（独立部分）が複数ある場合、各独立部分ごとに、地盤面の算定や、ＰＨ階が階数や高さに算入されるかどうかの算定が必要です。
例えば、一の建築物としては階数に算入されないＰＨ階でも、水平投影面積が独立部分の建築面積の1/8を超える場合、第六面上は階数に算入されます。

なお、独立部分の数が1の場合は、第四面と同じになるため、2欄と3欄を記入する必要はありません。

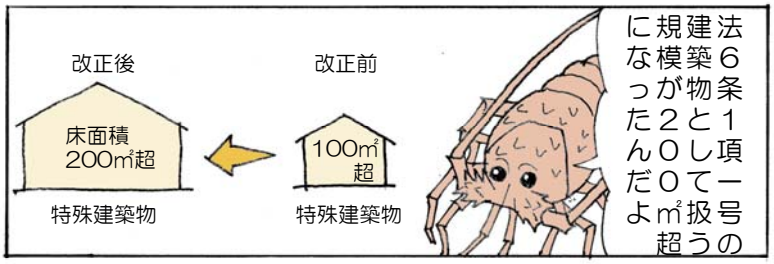


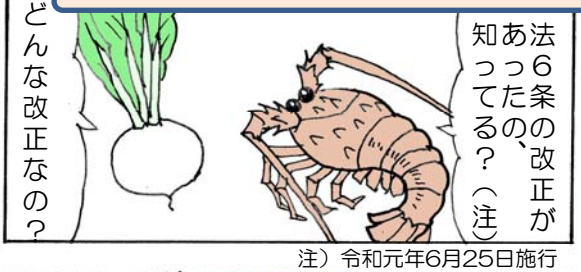




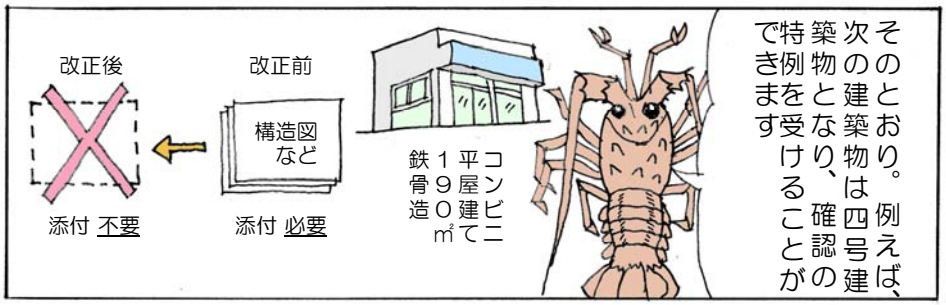
（次号につづく・・・）

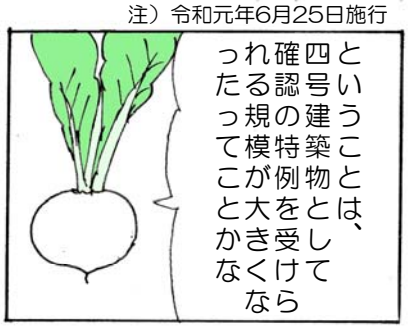
法6条改正で確認の特例を受けられる？

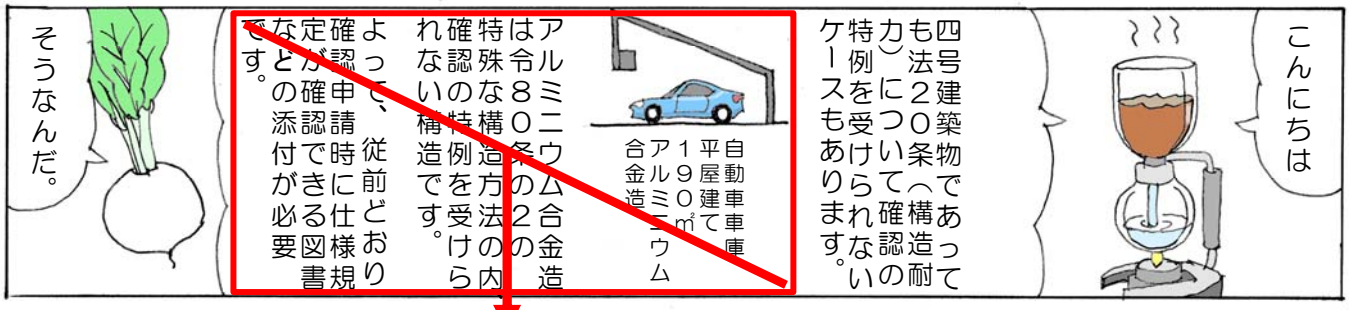




注）令和元年6月25日施行







編集後記

（注）令和３年6月30日より、四号建築物の建築確認において審査が省略される規定に、ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金造の仕様規定が追加されました。

5月から、日本ERI(株)名古屋支店構造審査課に赴任しました南です。
これから、よろしくお願いします。馬のレースを観戦することが好きです。
先日、名古屋のモーニングを食べるために、近所の喫茶店に行きました。
コーヒー+トースト1枚＋ゆで卵1個のセットで400円、美味しかったです。
また行きたいと思います。